

東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略等の評価に対する委員コメント

○東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）の評価

- ・全国的に人口減となっている中で、人口を維持しているのは評価できる。
- ・移住者増加に効果を上げている「とうかい住まいる応援事業」補助金の情報が移住を考えている人に届くよう引き続き周知方法を工夫してほしい。
- ・土地区画整理事業が完了した後、移住・定住に必要な住環境の整備をどのように進めるかは次の課題となる。
- ・第2期は数値目標やKPIの一部が累積値となっており、単年の実績が分かりづらかった。第3期では累計値と単年の数値も併記すること。
- ・第2期の数値目標とKPIのいくつかは計画期間内での測定ができない指標を設定していたことを踏まえ、次期以降は測定可能な指標を設定するよう見直すこと。

○令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）の評価

【電子図書館導入整備事業】

- ・電子図書館の登録者数と年代割合を把握し、改善の取組みを検討する。
- ・直接図書館に行くことが難しい方に需要があると思う。電子図書館の使い方の説明、周知を手厚くすると良い。
- ・図書館自体の利用を促進するため、読みたい本のリクエストをWeb上でも可能にする、借りた本の返却方法を増やすなど、利便性向上を図ってもらいたい。
- ・図書館は本との出会いの場であり、おはなし会などのイベント開催、勉強などの利用で友達に会うなど、人との出会いの場にもなっている。リアルな場としての役割も大切にしてほしい。
- ・利用者の属性や利用実態を把握し、（アンケートなどで）寄せられた要望についても深掘りし、満足度向上を目指して取り組んでもらいたい。

以下の事業については、特段のコメントはなし。

- ・デマンドタクシーAI配車システム導入事業
- ・スマートサービス推進事業
- ・いばらきサイクルツーリズム強化推進事業